

防災備蓄倉庫を寄贈

印南町へ紀州ファスナーが地域貢献



町有地に設置した防災備蓄倉庫の前で中江社長(左)と日裏町長

紀州ファスナー株式
会社(中江良一社長)
が印南町に防災倉庫を
寄贈し、17日には日裏
勝己町長が町長表彰の
感謝状を贈った。

紀州ファスナーは1
957年に大阪で創
業。71年には印南町古
井地内に和歌山工場が
完成し、2017年ま
で46年間にわたって町
の地域産業、雇用創出
に尽力。和歌山工場は
現在御坊市に移転して
いる。中江社長も7年

半、和歌山工場長を務
めた経験があり、印南
町に貢献したいと防災
備蓄倉庫を寄贈した。
防災倉庫は長さ約9
メートルのコンテナで、防災
福祉センター近くの町
有地に設置。表面には
町マスケットのカック
んとエルちゃんのかわ

いいイラストを描いて
いる。中には段ボール
間仕切り300部屋
分、段ボールベッド90
組、備蓄毛布540枚
を保管している。

日裏町長は「町民の
安全安心につながり、

Dr. 関塾 御坊たから校

ありがたい。有効に使
わせていただきます」
と感謝。中江社長(64)
は「町長や職員の皆さ
んの防災に対する考え
方が備蓄倉庫の寄贈に
つながった。防災グッ
ズが使われなくていい
ことを祈っています」
と話した。

印南町
防災備蓄倉庫



印南町
防災備蓄倉庫

